

独立自尊の社会・世界に
貢献する人財を育成する



株式会社ナガセ

2024年3月期第3四半期 決算説明資料

2024年1月29日

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校
早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚

木村塾

イマンスイミングスクール
イマンスポーツスクール

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

目次

1

会社概要

P. 2

2

業績振り返り / 業績予想

P. 5

1. 会社概要

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚



イマスイミングスクール
イマスポ・スクール

木村塾

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

事業概観

企業理念「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」

生徒数 約**37万人**

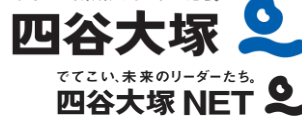
全国**3,000**拠点
民間最大の教育機関



林修先生 安河内哲也先生



でてこい。未来のリーダーたち。



中学受験
小学生 約**3.2万人**

大学受験高校生 約**12万人**

社会人

大学生

高校生

中学生

小学生

幼児

AIリーダー研修
語学・ビジネススキル研修
東進ビジネススクール



大学生～社会人約**7.2万人**

東進オンライン学校



東進こども英語塾



清瀬ひかり幼稚園

スイミングスクール約**10万人**



お橋 ゆい
大橋悠依選手
2021年東京五輪
金メダル二冠



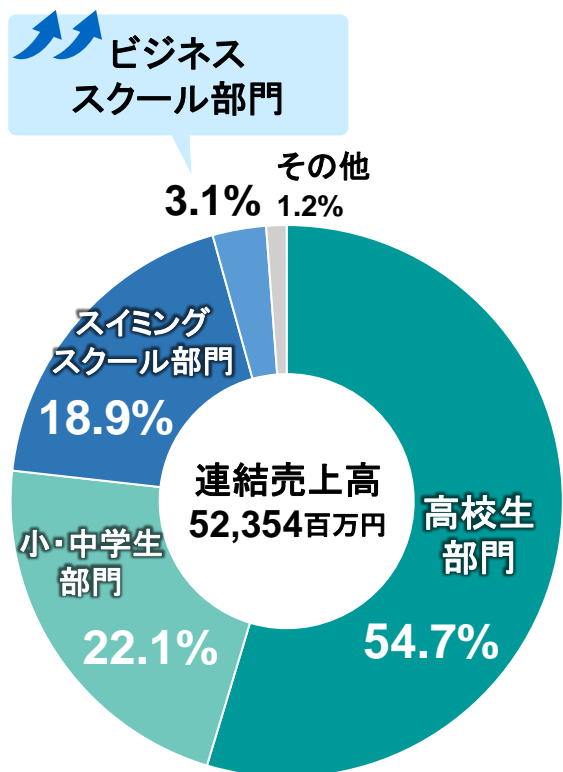
ほんだ ともる
本多灯選手
2021年東京五輪
銀メダル



いりえ りょうすけ
入江陵介選手
2012年ロンドン五輪
銀メダル



セグメント別の売上構成比(2023年3月期)



1 高校生 **東進ハイスクール** **東進衛星予備校** **早稲田塾**

2 小・中学生 でてこい、未来のリーダーたち。 **四谷大塚** **東進中学NET** **木村塾**

3 スイミングスクール **イトリスイミングスクール** **イトリスポーツスクール**

4 ビジネススクール (AI・DX領域) **東進ビジネススクール** **TOSHIN DIGITAL UNIVERSITY**

ビジネススクール部門を第四の柱に

2. 業績振り返り / 業績予想

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚



イマスイミングスクール
イマスポ・スクール

木村塾

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

2024年3月期第3四半期の連結業績概況

★ : 過去最高

(単位:百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2024年3月期3Q (当期)	★ 39,581		3,747		3,613		2,159	
2023年3月期3Q (前期)	38,542		4,989		4,736		3,883	
前年比 (%)	+1,039	+2.7%	△1,241	△24.9%	△1,122	△23.7%	△1,724	△44.4%

- 売上高は、前年比+1,039百万円(2.7%増)となり、第3四半期としては過去最高実績を更新しました。
 - ①小・中学生部門の増収 1,666百万円 (ヒューマレッジ加入による1,646百万円の増収など)
 - ②ビジネススクール部門の増収 513百万円 (企業向けIT・DX講座の大口受注増収)
 - ③高校生部門の減収 △1,220百万円 (前期末・夏期募集期に新規入学者数が前年を下回った影響による減収)
- 経費面では、前年比+2,281百万円(6.8%増)となりました。このうちヒューマレッジ加入(のれん含む)による増加を除く、既存部分では+342百万円(1.0%増)となりました。

既存部分の増加は、①全国統一テストのTV広告などによる広告宣伝費+160百万円 ②新規校舎等に係る物件費+200百万円③合宿、セミナー等のイベント再開の費用+210百万円など戦略経費によるものです。経常経費では臨時人件費圧縮をはじめとした効率化を進め、第2四半期末時点の+903百万円に対して、第3四半期末では+342百万円となりました。
- 利益面では、高校生部門の減収、戦略経費の増加により、各利益とも昨年を下回りました。なお、昨年は研修施設の売却による特別利益1,009百万円の計上があり、前年比では四半期純利益でこの影響がでております。

2024年3月期第3四半期の連結業績概況(セグメント別業績)

(単位:百万円)	2023年3月期3Q		2024年3月期3Q		対前年比(増減)	対前年比(%)
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)		
売上高	38,542	100.0%	39,581	100.0%	1,039	102.7%
高校生	21,876	56.8%	20,655	52.2%	△1,220	94.4%
小・中学生	7,994	20.7%	9,661	24.4%	1,666	120.8%
スイミングスクール	7,476	19.4%	7,470	18.9%	△5	99.9%
ビジネススクール	760	2.0%	1,274	3.2%	513	167.6%
その他	1,361	3.5%	1,442	3.6%	80	105.9%
連結調整※	△927	-	△923	-	-	-
	実績	利益率(%)	実績	利益率(%)	対前年比(増減)	対前年比(%)
営業利益	4,989	12.9%	3,747	9.5%	△1,241	75.1%
高校生	5,520	25.2%	3,911	18.9%	△1,608	70.9%
小・中学生	1,811	22.7%	1,528	15.8%	△282	84.4%
スイミングスクール	404	5.4%	503	6.7%	98	124.3%
ビジネススクール	3	0.5%	405	31.8%	402	-%
その他	△72	-	209	14.5%	282	-%
連結調整※	△2,678	-	△2,811	-	-	-
経常利益	4,736	12.3%	3,613	9.1%	△1,122	76.3%
四半期純利益	3,883	10.1%	2,159	5.5%	△1,724	55.6%

2024年3月期3Q 売上高変動要因

- 高校生部門
 - 前期末募集期の新規入学者数減少と、夏期の生徒募集で低学年の入学数が伸び悩んだことが影響し、前年比**5.6%減**となった。
- 小・中学生部門
 - 2023年1月にグループ会社となったヒューマレッジ(木村塾等)の増加分1,646百万円があった他、四谷大塚も堅調に推移し、合計では前年比**20.8%増**となった。
- スイミングスクール部門
 - 前年あったコロナ休業時の振替売上95百万円の計上が今年はないものの、夏期の募集が堅調に推移し、全体では前年並みとなった。
- ビジネススクール部門
 - 企業向け研修で、新たなる成長分野としてIT・DX研修への取組みを積極的に推進、1Qに大口受注を獲得したことで、前年比**67.6%増**となった。

2024年3月期3Q 利益変動要因

- BS部門の大幅増益の一方で、高校生部門の売上高減と、統一テスト広告費など第2四半期までの戦略経費の増加により、前年比で、営業利益**1,241百万円減**、経常利益**1,122百万円減**となった。
- 四半期純利益は、前年第1四半期に固定資産売却益10億円の計上があったため、前年比としては**1,724百万円減**となった。

※ 連結調整額にはセグメント間取引消去額、各報告セグメントに配分していない全社費用を含む

2019年3月期~2024年3月期第3四半期

四半期連結決算業績概況

- 当社の事業は、受験や進級・進学シーズンを節目に、季節性を有します。
- 新学年の開始時期である第1四半期は費用が先行し赤字となるケースも多く、その後第2四半期以降、特に生徒数がピークを迎える第3四半期・第4四半期に売上・利益ともに増加するという季節的な変動があります。

	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	8,449	11,209	13,054	12,968	8,957	11,180	12,879	12,164	7,744	10,759	13,497	13,851	9,996	12,131	13,715	13,561	11,065	13,133	14,343	13,812	11,691	13,706	14,184
営業利益	-1,962	1,121	2,218	1,288	-404	1,627	2,166	1,186	-1,233	903	2,868	1,603	114	1,539	2,339	1,597	400	2,045	2,544	380	-169	1,599	2,317
経常利益	-1,948	1,074	2,164	1,106	-487	1,542	2,127	1,068	-1,292	807	2,764	1,782	91	1,385	2,253	1,423	399	1,897	2,439	335	-138	1,468	2,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	-1,425	442	1,497	502	-321	1,060	1,470	716	-917	559	1,954	830	76	951	1,558	854	937	1,315	1,629	117	-150	847	1,468

※ 2021年3月期の連結営業利益および連結経常利益は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業停止により発生したスイミングスクール部門における損失450百万円を特別損失に振り替える前の数値を掲載

2024年3月期の連結業績予想

通期の業績予想については、第3四半期時点で高校生部門の生徒募集に遅れが見られるものの、他部門が概ね計画の範囲で推移していること、また、第3四半期以降の経費削減が予定通り進捗していること等を踏まえ、前回発表(2023年4月27日付「2023年3月期 決算短信(連結)」)の業績予想から変更はありません。

(単位:百万円)	2023年3月期		2024年3月期		対前年比(増減)	対前年比(%)
	実績	構成比(%)	計画	構成比(%)		
売上高	52,354	100.0%	55,750	100.0%	3,395	106.5%
高校生	28,618	54.7%	28,671	51.4%	53	100.2%
小・中学生	11,573	22.1%	13,530	24.3%	1,957	116.9%
スイミングスクール	9,898	18.9%	10,280	18.4%	381	103.8%
ビジネススクール	1,641	3.1%	2,670	4.8%	1,029	162.7%
その他	1,873	3.6%	1,960	3.5%	87	104.6%
連結調整 ^{※1}	△1,251	-	△1,361	-	-	-
	実績	利益率(%)	実績	利益率(%)	対前年比(増減)	対前年比(%)
営業利益	5,369	10.3%	6,433	11.5%	1,063	119.8%
経常利益	5,071	9.7%	6,123	11.0%	1,051	120.7%
当期純利益	4,000	7.6%	3,640	6.5%	△360	91.0%

※1 連結調整額にはセグメント間取引消去額を含む

能登半島地震への被災者特別支援制度について

能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

東進では被災者特別支援制度を設置しました

被災された高校生の皆さんに「学びを止めないでほしい」との思いから 東進の授業・英作文1000本ノック(AIを活用した英作文練習)を無償提供し学習支援致します

北陸の代表紙 北國新聞に
応援メッセージを掲載
第1弾1/23(火)・第2弾1/27(土)

能登半島地震で被災された 高校生と保護者の皆様へ

東進ハイスクール
東進衛星予備校
東進中学NET

～東進が被災者特別支援制度を設置しました～

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により
犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、
被災された皆様と、ご家族・関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

私ども東進は、石川県内に5校舎の東進衛星予備校を構え、
地域の皆様と共に歩んでまいりました。
今この事態に民間教育機関である私どももなすべきこと、
それは「地域の高校生たちがしっかりと勉強に取り組み体制を整える」こと、
そのように考えました。

大変な逆境にある中、若い皆さんが、将来のために勉学に励むことは、
地域再生の第一歩であり、石川県の将来にとっても大いなる希望となるでしょう。
自らの「志」を原動力として、学びを止めないでほしいと願っています。

そこで私どもは、被災された高校生、中学生の学習を支援するため、
東進の授業を無料で受講できるなどの支援制度を下記の通り設置いたしました。

逆境に負けず逞しく未来を切り拓く「若い力」を、私どもは信じています。
この支援が、高校生の皆さんの「若い力」を伸ばす一助となりますことを願っております。

東進ハイスクール・東進衛星予備校
理事長 永瀬 昭幸
社員・スタッフ一同



東進 能登半島地震被災者特別支援制度

A: 石川県内の高校生への学習支援

東進への入学金、授業料の免除 (18万7千円相当)

- 被災した高校生・中学生に対して、東進への入学金(3.3万円)および
通学経費(90分授業×40回分×15.4万円相当)を免除いたします。
申込期間 2024年3月31日。
- 東進の校舎に通学できない高校生は、東進ハイスクール
在宅受講コース(自宅学習)にて、上記(1)と同条件で
学習することができます。

B: 東進生への学習支援

ホテル宿泊費の補助 他

- 避難生活を余儀なくされ、学習環境確保のためにホテルに宿泊
する東進生の宿泊費を補助します。参加は独立二次試験
終了まで、高校生は2024年2月末まで。
- 2024年度生のうち被災した東進生の通学経費(90分授
業×40回分×15.4万円相当)を無料とします。
申込期間 2024年3月31日。

石川県の東進校舎一覧 東進衛星予備校本部 0120-104-631 東進衛星予備校石川南校 011-259-2

東進衛星予備校 東金沢校 076-251-8511	東進衛星予備校 金沢本町校 076-223-6010	東進衛星予備校 金沢有松校 076-241-3768	東進衛星予備校 金沢南校 076-280-0155	東進衛星予備校 小松駅前校 076-285-4710	東進衛星予備校 白山校 076-276-1133	東進衛星予備校 松任駅前校 076-274-1706	東進衛星予備校 七尾駅前校 076-67-5222
東進ハイスクール 在宅受講コース (自宅学習) 0120-531-104	詳細は 東進ドットコムへ www.toshin.com						

石川県の高校生の皆さんへ

東進ハイスクール
東進衛星予備校
東進中学NET

東進の学習支援制度【第2弾】

～日本初、最新AI(GPT-4)による、
英作文の自動採点・添削システム
「英作文1000本ノック」を無料で提供します～

私ども東進は、能登半島地震の被災地である石川県の高校生の方々の学習を支援するため、
このたび支援制度の第2弾として、英作文を即時に採点・添削できる「英作文1000本ノック」を提供する運びとなりました。

英作文は、大学入試に必須のスキルでありながらも、教育現場において十分な指導がなされていませんでした。
その理由は、先生方の採点・添削指導の負担が重く、採点・添削に十分な時間を割くことが難しく、
そのような問題を一気に解消するがこの「英作文1000本ノック」です。

「英作文1000本ノック」は、最新の生成AIであるChat GPTを活用し、東進が新たに開発した学習システムで、
先生が採点した和文英訳の解答を、その場ですぐに「採点」「採点理由」「採点理由」を採点・添削してくれる、
とても心強い味方です。

基礎から難問まで、君にぴったりのレベルの問題からスタートでき、
いつでも君のそばに居るAI先生と対話しながら、何度も和文英訳を書いていくことで、
楽しく、どんどん上達していくことを実感できるでしょう。

今回、被災地の皆さんに無料で提供するにあたっては、2つのお願いがあります。
一つは、積極的に活用いただき英語力の向上を実現してください。
もう一つは、活用したことで感じたことをぜひ私どもにフィードバックしてください。
いただいたご意見・ご感想を参考にし、更なる改善につなげれば
私どもにとっても大変ありがたいことです。

この支援が、被災された高校生の方々の「若い力」を伸ばす一助となりますことを願っております。

東進ハイスクール・東進衛星予備校
理事長 永瀬 昭幸
社員・スタッフ一同



東進 能登半島地震被災者特別支援制度

学習支援【第2弾】

和文英訳自動採点システム「英作文1000本ノック」の無料提供

「英作文1000本ノック」とは、最新の生成AIであるChatGPT(GPT-4)を活用して、
基礎から難問レベルまでの精選された和文英訳1,000題を、1人1回の学力や目的に
合わせて、その場ですぐに採点・添削してくれる、今までにない新しい「英作文」システムです。
正式には2024年度2学期から提供予定です。

- 石川県内の高校生に対して、「英作文1000本ノック」を以下の期間で無料提供します。
高校生：2月1日(水)～2月29日(水) ※申込は1月17日(日)より開始
中学生以下：2月1日(水)～2月21日(日) ※0学期の高校生は申込期間外です。
なお、ご利用にあたり、要請したご意見・ご感想をお寄せください。
今後の改良・改善の参考にさせていただきます。

学習支援【第1弾】

東進への入学金、授業料を免除

(1) 石川県内の高校校に対して、東進への入学金(3.3万円)、
および通学経費(90分授業×40回分×15.4万円相当)
を無料とします。申込期間 2024年3月31日。

(2) 東進の校舎に通学できない高校生は、東進ハイスクール
在宅受講コース(自宅学習)にて、
上記(1)と同条件で学習することができます。
なお、被災された高校生に対して、本学習支援制度の
詳細などの支援をさせていただきます。東進生は必ず
お問い合わせください。

石川県の東進校舎一覧 東進衛星予備校本部 0120-104-631 東進衛星予備校石川南校 011-259-2

東進衛星予備校 東金沢校 076-251-8511	東進衛星予備校 金沢本町校 076-223-6010	東進衛星予備校 金沢有松校 076-241-3768	東進衛星予備校 金沢南校 076-280-0155	東進衛星予備校 小松駅前校 076-285-4710	東進衛星予備校 白山校 076-276-1133	東進衛星予備校 松任駅前校 076-274-1706	東進衛星予備校 七尾駅前校 076-67-5222
東進ハイスクール 在宅受講コース (自宅学習) 0120-531-104	詳細は 東進ドットコムへ www.toshin.com						

若い生徒たちが将来のために勉学に励むことが地域再生の第一歩であり 地域の将来への大きな希望となる

株主還元

- 当社は、事業の成長また経営基盤強化など、事業展開を進めるうえで必要な内部留保を確保し、財務の健全性を維持するとともに、業績に応じた株主への利益還元を行うことを利益配分の方針としております。

	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月		2024年3月 (予想)
配当 (円)	100	130	130	130	130	130	130	200	300	1株↓3株 株式分割	100
配当性向 (%)	44.3%	35.8%	45.1%	44.2%	113.4%	39.1%	47.0%	51.0%	65.8%		72.3%

当社は2023年4月1日付で1株につき3株の割合をもって株式分割を実施いたしました。これにより、発行済株式数は30,445,227株となり、「2023年3月期決算短信」以降の開示文書では、1株あたりの各数値は換算値で表示されております。(例:配当300円→100円)

「スタンダード市場選択」に伴う対応

- 東証新市場区分「スタンダード市場」の上場維持基準への適合に向けて、流通株式比率の改善に取り組みました。
- 流通株式比率は、2023年4月の株式分割、2023年9月の株式売出しの効果があり、2023年9月期末時点で**25.3%**(前期末判定基準日比10.0%改善)となり、**現時点で全ての適合基準を満たしております。**

※ 2023年9月30日時点

	株主数	流通株式数	流通時価総額	流通株式比率
当社の状況	5,699人	77,206単位	156億円	25.3%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
適合状況	○	○	○	○

お問い合わせ先

常務取締役 総務本部長 内海 昌男

TEL: 0422-45-7011

WEBサイト: <https://www.toshin.com/nagase/>

本資料における留意点について

本資料は、当社の事業、業績等に関する一般的な情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券に対する投資の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいた当社独自の業績予測や将来の見通しが含まれており、当社はその正確性や完全性を保証または約束するものではありません。判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が計画と異なること、計画が予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。